

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

第二回本会議

令和 6 年 6 月 12 日（水）

（議事次第）

報告

1. 令和 6 年度全代会監察役の選出

議題

1. 令和 7 年度学園祭開催に関する要請
2. 2023 年度決算案
3. 2024 年度予算案

タイムテーブル

当日の時刻	予定した日程	当初予定
18:30	開会	
18:30~18:41	出欠確認・資料確認	10 分間
18:41~18:45	報告 1	5 分間
18:45~18:51	議題 1	10 分間
18:51~18:57	表決	5 分間
18:57~19:20	議題 2	20 分間
19:20~19:35	議題 3	15 分間
19:35~19:41	表決	5 分間
19:41~19:52	諸連絡	5 分間
19:52	散会	

出席者

学類等代表者 57 名 詳細省略

資料一覧

- ・議事次第

- ・令和 6 年度全代会監察役の選出について

議題① 「令和 7 年度学園祭開催に関する要請」

- ・議案書 「令和 7 年度学園祭開催に関する要請について」

…… P24002-00

- ・要請書「令和 7 年度学園祭開催に関する要請」

…… P24002-01

議題② 「2023 年度決算案」

- ・議案書 「2023 年度決算案について」

…… P24003-00

- ・決算案 「2023 年度決算案」

…… P24003-01

- ・会計監査報告書 「2023 年度会計監査報告書」

…… P24003-02

議題③ 「2024 年度予算案」

- ・議案書 「2024 年度予算案について」

…… P24004-00

- ・予算案 「2024 年度収支予算案」

…… P24004-01

以下、議事録

開会

○近藤 拓未（議長）

これより、令和 6 年度第二回本会議を開会する。

出席確認・資料確認

○近藤 拓未（議長）

出席者を確認する。慣例に基づき、読み上げられた学類に在籍する代表者の挙手を以て出席とする。

円滑な議事進行のため、参加者においては、適宜資料を確認されたい。

出席確認の詳細は省略

○近藤 拓未（議長）

学類等代表者の出席者は 56 名である。本会議の充足数を満たしたことを確認した。

議題

○近藤 拓未（議長）

議事次第に則り、まず、監察役選出報告を行う。担当の桑原、お願いしたい。

○桑原 侑（副議長）

副議長の桑原である。私から、令和 6 年度全代会監察役の選出について報告したい。まず資料の訂正がある。生物資源学類成田さんと記載があるが、正しくは生物学類である。この場を借りて訂正したい。報告に移る。

副学長決定「筑波大学における学生の組織およびクラス連絡会について」第 40 項の規定に則り、今年度の監察役が選出された。監察役は副学長決定に基づき、全代会の不信任案の受理、信任投票の実施などを行うもので、また、全代会決定第 38 条の 7 に基づいて全代会の会計監査を行う者である。監察役の資格要件として副学長決定に定められており、構成員の中で「次年度に学類等代表を続ける意思のないことを表明した者」及び「今年度学類等代表ではない者」の要件を満たした者で、社会工学類の林凜太郎と生物学類の高木彩音が選出された。以上報告である。ここで、監察役の 2 名に話をしてもらいたい。議長、許可をお願いしたい。

○近藤 拓未（議長）

許可する。

○桑原 侑（副議長）

監察役が誰であるのかを知る必要があるため前に出てきてもらう。

○林 凜太郎（社会工学類）

社会工学類 4 年の林と申す。昨年度全代会議長である。よろしくお願いします。

○高木 彩音（生物学類）

生物学類 3 年の高木彩音と申す。昨年度議長などをしていたわけではないが、よろしくお願いします。

○桑原 侑（副議長）

2 名ありがとう。以上で終わりにする。

○近藤 拓未（議長）

ありがとう。今年度の監察役選出に関する報告であった。

議題①から始める。議題①は令和 7 年度学園祭開催に関する要請である。001.0 本会議チャンネルより資料を参照してほしい。学内行事委員会委員長、お願いします。

○國崎 沙和子（学内行事委員会 委員長）

P24002-00「令和 7 年度学園祭開催に関する要請について」の通り、P24002-01「令和 7 年度学園祭開催に関する要請書」について審議する。この資料は、全代会と学生生活支援室との間における「学園祭に関する申し合わせ」にしたがって、令和 7 年度の学園祭を行うにあたり、本祭と前夜祭、それに伴う片付け日として本祭の 1 日後を休講にすることを大学に要請するものである。今回は学長への提出を提案するとともに、その是非を諮る。なお、「学園祭に関する申し合わせ」はインターネット上に掲載されているため、詳細は検索してほしい。

○近藤 拓未（議長）

18 時 49 分まで質問等を受け付ける。質問がある方は挙手してほしい。

○本木下 真大（総合学域群第 1 類）

11 月 1 日は金曜日ではないか。日付と曜日が 1 日ずつずれていないか。

○國崎 沙和子（学内行事委員会）

2025 年の日程であるため、日付と曜日のずれはない。

○本木下 真大（総合学域群第 1 類）

承知した。

○近藤 拓未（議長）

18 時 51 分までに次の質問がなければ表決に移る。質問がある方は手を挙げてほしい。

次からは質問の前に学類名と氏名を名乗ってほしい。

○近藤 拓未（議長）

18 時 51 分になったので表決に移る。

Teams の 001.0-本会議チャンネルにあるフォームより電子投票を行う。オンラインの方も同様に投票願う。

○近藤 拓未（議長）

日本語・日本文化学類中野さんの出席を確認できていなかった。申し訳ない。現在の出席者数は 57 名である。

採決の手続きについては省略

○近藤 拓未（議長）

表決結果は、賛成 54、保留 0、反対 0、棄権 3 となった。 よって、本議案は賛成多数で可決された。

○近藤 拓未（議長）

次の議題に移る。議題 2「2023 年度決算案について」を総務委員にお願い委員長にお願いする。

○木下 溪花（総務委員会 委員長）

Teams の本会議チャンネルより、資料 P24003-00「2023 年度決算案について」を参照願う。
全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議決定「全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議について」、通称全代会内部規則の第三十八条の 5 により、決算案は本会議による承認を受けなければならないため、本会議に議題として提出した。続いて資料 01「2023 年度決算案」を見てほしい。提出した決算案は 3 つあり、1 つ目は貸借対照表である。全代会の財

政状況を表すもあり、資産の部、負債の部、正味財産の部に分かれている。2つ目に説明するのは損益計算書である。貸借対照表と大きく変わる点はない。貸借対照表の内部収入の欄に「受取寄付金」という項目があるが、こちらは昨年度「賛助金」と表記していたものを「受取寄付金」に名称変更した。同一会計同一科目の原則には反するが、名称として適切でないことからより一般的な名称に変更した。3つ目は正味財産増減計算書内訳表である。これは昨年度の収入と使用した予算の内訳になる。

続いて資料末尾 02 に移る。今年度の監察役である林さんから報告をお願いします。

○林 凜太郎（監察役）

2023 年度決算を確認し、事実に基づき記載されていたことを報告する。

○木下 溪花（総務委員会）

2023 年度決算については以上とする。

○近藤 拓未（議長）

質疑応答に移る。質問がある方は挙手してほしい。

○植木 直生（応用理工学類）

正味財産増減計算書について質問がある。当期経常増減額と当期経常外増減額を足した値が当期正味増減額になっているという認識で合っているか。

○木下 溪花（総務委員会）

おそらくそうだと思う。

○植木 直生（応用理工学類）

当期経常増減額と当期経常外増減額を足すと 8 万円程度であるが、当期正味増減額は当期経常増減額の値と同じになっている。これは誤植ということか。

○木下 溪花（総務委員会）

もう一度説明願う。

○植木 直生（応用理工学類）

当期経常増減額は 124,591 円になっており、当期経常外増減額は 40,000 円減少している。当期正味財産増減額は 124,591 円と当期経常増減額と同じ値になっているが、正味ということは経常増減額と経常外増減額を足した値になり 84,591 円になるのではないだろうか。

○木下 溪花（総務委員会）

ここでの当期経常外増減額というのは今年度他会計振替としたものである。

○植木 直生（応用理工学類）

他会計振替にすると経常収益に入るということか。

○木下 溪花（総務委員会）

総務委員の澁谷に受け渡す。

○澁谷 耕大（総務委員会）

他会計振替額はいわゆる研修会予算として使われたものである。昨年度の支払い処理が長引いたが振替額も収益に入っていないと計算は合わない。

○木下 溪花（総務委員会）

少し確認する。

○木下 溪花（総務委員会）

一度委員会で会計担当に確認を取る。時間を取ってしまい申し訳ない。

○近藤 拓未（議長）

資料作成者に問い合わせるため、当該質問の回答は保留する。他に質問がある方はいるか。

○岩渕 泰知（社会工学類）

決算案の2枚目と3枚目について、それぞれ最後の行の正味残高期末財産が、2枚目の正味財産期末残高が163,591円である一方で3枚目の同じ項目が123,591円となっている。同じ項目で数値が異なっており、どちらかが間違っていると思われる。

○木下 溪花（総務委員会）

今確認中の40,000円の方だと思う。返答待ちとさせていただきたい。

○岩渕 泰知（社会工学類）

もう一点質問がある。2枚目のⅠ経常増減の部（2）経常費用の当期経常増減額は124,591円である一方で3枚目の内訳書の同じ項目は84,591円となっており40,000円ずれている。同じところだと思うが確認をお願いしたい。

○木下 溪花（総務委員会）

ご指摘感謝する。

○植木 直生（応用理工学類）

差引 40,000 円で差が出ているということであったが、正味財産増減計算書の増減の列の正味財産期末残高が 124,591 円である一方正味財産増減計算書内訳表では 123,591 円と 1,000 円のずれが生じている。そちらについても確認していただきたい。おそらく内訳表の経常費用が 1,000 円少なく記載されていることが原因だと思われる。

○木下 溪花（総務委員会）

該当箇所も確認する。

○相川 大慍（医学類）

先ほどの質問に関して、1,000 円のずれは生じていないはずである。正味財産増減計算書の右下の 124,591 円と内訳表の 123,591 円を比べて 1,000 円ずれているとのことであったが、おそらく比べているところが誤っている。正味財産増減計算書の 124,591 円は当年度と前年度の増減の差、内訳表は当年度の残高であるため、内訳表の 123,591 円に対応するのは正味財産増減計算書の 163,591 円であり、先程指摘された 40,000 円のずれに当たるとと思われる。

○綱木 映法（社会学類）

正味財産増減計算書について、経常費用の前年度の通信費と広告宣伝費が 0 円になっている。内訳を確認したところ、通信費はメールとサーバのドメイン代で、広告宣伝費はノベルティのボールペンだった。ノベルティのボールペンは前年度に作成していないため 0 円というのは理解できるが、メールやサーバのドメイン代は前年度は発生していなかった、利用していなかったということによろしいか。

○澁谷 耕大（総務委員会）

その通りである。ここにおける前年度、2022 年度には通信費は使用していなかったが 2023 年度から使用しているためその認識で間違いない。

○近藤 拓未（議長）

議題 2 の予定時間である 19 時 20 分を過ぎたが、現在表決を取るに十分な情報が出ていないという状況を鑑み、この議題については保留とする。次回以降の本会議で改めて協議する。

○近藤 拓未（議長）

議題 3 に移る。「2024 年度予算案について」を引き続き総務委員に願います。

○木下 溪花（総務委員会）

議題 2 は時間を取ってしまい申し訳ない。

続いて予算についても承認を求める。資料末尾 01 収支予算案を見てほしい。収入は今年度の収入分として、今年度末に徴収予定の新歓費を計上している。金額は今年度と同等になると見込んでいる。続いて経常費用に移る。これは情報処理推進特別委員会より要望のあったサーバ代、広報より要望のあった広告宣伝費、台湾大学との交流の際の接待交際費、全代会全体に必要な消耗品費を計上している。また、予備費として 20,000 円を計上している。予備費は予算を超過した支出や予定にない支出が行われた場合に使用するものとなる。経常外費用として計上されている他会計振替は、研修会予算として支出を行ったものとなる。収支予算案については以上とする。

○近藤 拓未（議長）

追加で説明する。当資料に前期繰越金が計上されているが、当資料は各委員会からの予算申請をもとに作成しているため、昨年度の前期繰越金には依存しない予算の組み方になっている。表決についても前期繰越金を議題 2 をもとに修正する形にする。質問がある方は挙手してほしい。

○森 望（社会学類）

ただ今の説明に関して、前年度の繰越金は決算案が承認されていないということで、この項目はまだ確定していないと認識している。確定しない事項があるが審議を進めてよいということによろしいか。近藤議長への質問である。

○近藤 拓未（議長）

質問の通り、前期繰越金は確定していない。ただし内部収入の 13 万円で今年度の予算の支出が十分にかなうことと、先程申し上げた通り議題 2 の決算案が確定したら必ず修正するという条件のもと審議の対象になるものだと考えている。

○岩渕 泰知（社会工学類）

経常外費用について質問する。2024 年度研修会のため 40,000 円計上されているが、経常外費用というのはもともと本来の活動とは異なる臨時的なものに対して計上するものである。研修会は毎年開催されているため経常外費用の対象にはならないように思われるが、なぜ経常外費用として計上しているのか説明していただきたい。

○木下 溪花（総務委員会）

研修会は毎年開催することや内容等が確定しておらず動的なものであるため、費用の変動の可能性を考慮して経常外費用としている。

○木下 溪花（総務委員会）

先程の質問に関して監察役から助言をいただいた。研修会費用は他会計振替という扱いになっているため経常外費用となっている。

○林 凜太郎（社会工学類）

昨年度及び一昨年度の研修会は紫峰会基金に申請をして援助金をいただいて開催した。そのため研修会単体で会計をしなければならず、そのために他会計に振り替える額を全代会の予算で補っていた。紫峰会に申請して他会計に振り替えるという部分が経常外であり、紫峰会に援助をお願いしないのであれば経常費用に入れなければならないが、申請するのが経常的なものではないと解釈している。

○近藤 拓未（議長）

35 分まで質問がなければ表決に移る。

○近藤 拓未（議長）

表決に移る。

表決の手続きについては省略

○近藤 拓未（議長）

改めてになるが、今回の表決は議題 2 の表決が取れなかった以上前期繰越金の値が変動するものとなっている。議題 2 の表決を取り次第必ず修正して公開するという条件の元の表決となる。それを勘定に入れた上で投票してほしい。

○近藤 拓未（議長）

表決結果は、賛成 45、保留 8、反対 2、棄権 2 となった。賛成多数につき、本議案は可決された。

諸連絡に移る。各委員長から委員会活動の報告をしていただきたい。

○木下 溪花（総務委員会）

予算案の承認ありがとう。決算案に関しては保留となったため、委員会内で検討して次回

以降の本会議に再度議題としてあげさせていただく。また、前回行われた第 1 回本会議の短報を全代会のホームページに掲載した。ご確認いただけると幸いです。

○田口 瑛啓（総務委員会 情報部門）

情報部門では、パスワードの変更を行った。全代会室の部屋、Wi-Fi、および NAS のパスワードを変更した。事前の連絡なくパスワードの変更を行ったことで不都合があった方には申し訳なく思う。パスワードに関しては、昨年からいらっしゃる方は田口もしくは各委員長から、今年から入られた方は各委員長より、確認してほしい。

○國崎 沙和子（学内行事委員会）

議案の承認ありがとう。学園祭の 1 次予算案と 1 次実行計画書の朱入れが終わり、最終版を待っている。最終版は 6 月 19 日(水) に開催される意見聴取会にて、本会議よりも前に皆さんに確認してもらう機会を設ける予定である。詳細は後日連絡があるので確認願いたい。学分金の督促に関して、グループチャットが作成され、入っていると思うが、声掛けを行っていない学類があれば、可及的速やかに対応を行ってほしい。フォームが送れない、振り込みを証明する書類の紛失などのトラブルがあれば、チャットに送ってほしい。対処法を伝達するので、実践してほしい。それでも難しい場合には、学園祭実行委員会に直接メールを送ってもらうことになる。

○江添 由（教育環境委員会）

6 月 14 日（金）に委員会を開催する。出席確認の協力を願いたい。

○桑原 侑（生活環境委員会）

委員長代理の桑原より連絡する。前回の本会議から今回の本会議まで、福利厚生関係でアレルギーに関するアンケートを実施した。調査委員会と協力し分析の上、大学に要望等を行っていききたい。現在は新宿舎のアンケートを作成中である。

○坂入 快（調査委員会）

原材料表示アンケートの協力ありがとう。分析まで済んでいて、レポートと報告書の作成に移る。調査委員会独自の取り組みとして教育生活環境調査回答者への働きかけについて優先的に取り組んでいる。6 月 17 日（月）にミーティングを行う。

○榎本 陽子（広報委員会）

委員会で宿舍祭特別号の Campus 発行を記念して交流会を行った。来週は Campus232 号への動き出しを行う。参加確認へのご協力願いたい。

○吉川 栞（国際特別委員会）

チューター制度改善のためのマニュアル作成中である。また、9月に行われる秋新歓に関しても動き出している。生活環境委員会と調査委員会と合同で、原材料表記についての話も進んでいる。

○渋谷 耕大（情報処理推進特別委員会）

UNTIL.LT と呼ばれる情報系の人々とのプレゼンテーション会が5月中旬に行われた。教育環境委員会と合同で、BRIDGE の開発を開始している。1年生に関しては学園祭実行委員会の情報システム推進局と合同で研修を実施中である。

○近藤 拓未（議長）

3つ話がある。1つ目、学長と全代会構成員の茶話会がもうすぐある。皆さん、参加してほしい。学長や副学長と話す機会は少なく貴重なものとなるだろう。2つ目、来週の意見聴取会について確認する。次回の議題が大きく、表決まで終わらない可能性があるため、質疑応答を事前に行いたい。そのため、意見聴取会を開く。来週を行うため、ご協力願いたい。第3回本会議の出欠連絡もご協力願いたい。3つ目、全代会目安箱について。議長団のみが閲覧できるものになっている。匿名で伝えたいことや困りごとがあれば投書してほしい。

○近藤 拓未（議長）

以上で本会議を終了する。お忙しい中、お集まりいただき感謝する。

散会

以上 総務委員会 木下、綱木、岡崎 作